



同窓会報

発行所
大東文化大学同窓会
〒175-0082
板橋区高島平 1-14-2
TEL(03)5398-6188
FAX(03)3934-4386
編集発行人
同窓会会報委員会
<https://www.dbdousou.com/>
E-mail:dbdousou@gmail.com

【会長メッセージ】

大東文化大学同窓会
会長 小島 敏文

皆様こんにちは 同窓会会長の小島敏文です。

皆様にはそれぞれの地域、社会においてご活躍のことと拝察お慶び申し上げます。

大東文化大学は創立以来102年の歴史を刻み、一歩一歩着実な発展を遂げています。

しかし、人口減少期を迎え、大東文化大学といえどもその影響を受ける時期が到来することは確実であります。

そこで大学側は大東の「真の価値」は「卒業生」や「在学生」が創り出す社会への貢献 影響（インパクト）であると再定義し、15万人の知見を重要な「資産」と位置付け、卒業したら終わりの「送り出し」を改め、在学生も含めた「全世代型ネットワーク」を大学主導で再構築し、大東文化大学の永続的な発展を目指す。

指すとの目標のもと大学（渉外連携室）が主体となり、全卒業生を公式にフォローアップする持続可能な公的基盤（公式プラットフォーム）を構築する事を表明されました。

今まで全体を包含する同窓会、郵政会、書道同窓会などでしたが、この組織に加え、各スポーツ同窓会、各文化系同窓会、各ゼミ同窓会、企業家同窓会、等を糾合し15万人の卒業生が一生継続くパートナーシップを築き、それぞれの立場で母校を応援する「ALL大東」の巨大な支援組織を作り、卒業生の活躍とその知見が大学へ戻ること、「社会から選ばれる大学」としてのブランド力を強化したいと考えています。

去る5月31日に板橋校舎におきまして、令和8年度同窓会代議員会・総会を開催いたしました。我々、



【学長メッセージ】

大東文化大学
学長 高橋 進

在学生・卒業生に愛される大学を目指して、新たな門出へ

全国の皆様におかれましては、これまで大学と卒業生、在学生、そして地域社会をつなぐ重要な役割を、さまざまな面で担ってこられました。東京都や埼玉県はもとより、入学生や卒業生が決して多くない地区・県におきましても、在学生の就職支援、青桐会へのご協力、大東文化大学卒業生の交流イベントの開催、さらには在学生のスポーツ活動や文化活動への支援など、多大なるご尽力を賜っております。

こうした皆様の献身的なご活動は、本学の発展と在学生の成長を支える大きな力となっております。改めまして、深甚なる敬意と感謝を申し上げます。

そしてこのたび、より多くの卒業生の皆様に大東文化大学のさらなる発展に参画していただくことを目的として、大学が主体となつて卒業生全体を対象とする

受け皿の設立について説明をさせて頂きました。皆様からもご賛同をいただきましたが、これらが実現すれば、大東文化大学の新たな歴史の一頁が刻まれるものと確信しております。

新時代のニーズに即した

新しい受け皿は、①卒業生ネットワークの構築、②大

学との関係維持・強化、③在学生へのキャリア・就職支援、④大学への財政的・

人的支援、⑤大学ブランド価値の向上、⑥在学生・卒業生の生涯学習およびキャリア形成支援など、これま

で全国の皆様が強く願ひ、実践してこられた取り組み

を、さらに発展的かつ効果的に推進していく大きな原

動力となるものと存じます。日本の大学を取り巻く環境が大きく変化する中であ

つて、皆様の母校に寄せる思いは今後ますます深まっ

ていくことと感じております。引き続き、皆様のご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

大東文化大学同窓会
副会長 五十嵐 賢次

2018年問題への思考

対し多岐に渡り協力・支援を行っております。

令和8年度 大東文化大学同窓会代議員会・総会時は、ご理解・ご協力を頂きましてありがとうございます。

貴重なお時間を頂きながら不行き届きなことが多く、ご迷惑をおかけしましたことをまずもってお詫び申し上げます。

議題1「大東文化学園と同窓会の今後の方向性」につきましては、

①大東文化学園「新卒業生ネットワーク設立構想案」の説明（5月31日の代議員会）

②「同窓会報第290号」小島敏文会長の挨拶文

③「同窓会報 第290号」高橋進学長の挨拶文が現段階の状況（考え方）になります。具体的な組織形態等々につきましては、学園側との今後の意見交換等によると思われる。

大東文化大学の前身である学校法人大東文化学園は、帝国議会の決議により1923年（大正12年）に創設されました。

大東文化大学同窓会は、昭和2年3月に設立され99年間大学と共に歩んでおります。現在に至るまでの間、同窓会は大学及び在学生に

による情報提供の規制等を要因として、同窓会費徴収が低調（財務状況悪化↓運営困難）の時代に突入しています。（他大学も同様）

※この様に、大東文化学園（大学）、大東文化大学同窓会ともに存続発展に向けて一体となり将来像を構築しなければならぬことを共有して頂きたいと思ひます。

最後に代議員会・総会後の懇親会の全体写真を掲載します。

懇親会は、お酒を交えて和やかな雰囲気のもと、年代は違えど大東文化大学あるいは同窓会への思いを各々語り合いました。心がひとつに通い合う瞬間でもありました。また、時間を忘れさせる楽しいひとときでもありました。

次回元気に再会できるよう期待して散会となりました。

来年は皆様のご参加をお待ちしております。

※財務省・財政制度等審議会が、2040年までに私立大学4割（約250校）を減少する必要があると提言しています。

※一方、同窓会側としては、2012年度以降から母校への帰属意識の低下及び個人情報保護等の強化に



石川県支部

「大東文化大学同窓会石川支部総会・懇親会」は、新型コロナウイルスの影響や令和6年1月1日に発生した能登半島地震の影響もあり、永らく開催する事が出来ませんでした。

会員の有志の中からも、

今年開催しなければ、これからずっと出来なくなるとの意見もあり、令和8年2月21日、金沢ニューグランドホテルにて開催いたしました。

当日は、同窓会の小島敏文会長にもご出席して頂き、22名が参加しました。

小島会長が同窓会の現状報告を行い、会員の一人一人による近況報告など終始和やかな雰囲気で行われました。

来年は40人で参加しようと話をして、最後に写真を撮り、散会しました。

石川県支部長
小松 靖典



静岡県東部支部

大東文化大学同窓会の発展を祈って

静岡県東部支部では、令和7年10月19日(日)三島市の「源氏」にて静岡県東部同窓会を開催しました。

他にも箱根駅伝の応援、富士山女子駅伝の応援や慰問品の差し入れなどを行っております。静岡県東部支部

の出席者は毎年少数ですが、同窓会員の結束は固く、なんでも相談できる雰囲気があることが非常に強みとなっております。

大東文化大学は百年以上の長い歴史を持ち、社会の多くの分野に数多くの素晴らしい卒業生の方々がおられます。私の住む地区にも何人もの方がおられ、ふと

したきっかけから大東文化

の話題で楽しくお話させていただくことも多々あります。そんな中で私も大東文化卒業生の方々に、同窓会の活動への参加をお勧めしたりもするのですが、なかなか同窓会活動の人数が増えていくことが悩みの種でもあります。

「同窓会に入って、なかメリットはあるのか？」ある同窓の方が、こうおっしゃいました。多くの方の偽らざる思いはここでしょう。私も同感です。したがって、同窓会員の繋がりが、結束の他に、今後具体的に同窓生の方々にメリットが感じられる取り組みをしていくことが急務だと思います。

静岡県東部支部長

田中 順

愛知県支部

愛知県支部活動状況についての報告です。

令和6・7年度に同窓会

支部総会を3月に開催しました。多くの同窓生の参加を望んでいます。参加していただく

方々も高齢となり、若い方々のご参加を目指しております。

また、毎年11月に開催される「全日本大学駅伝」の応援をこ



鹿児島県支部

令和7年度
鹿児島県支部活動報告

ご尽力により、同窓会本部の運営が正常化されてきたことも、報告されました。

次に、懇親会に移り、その中で、参加者全員の現況報告を行いました。その後、福元邦敏幹事長の軽妙な進行の下、「大人の脳トレゲーム」を行いました。最後まで、和気藹々とした雰囲気

で、支部総会を終えました。支部の課題は、新会員特に、新卒者の加入です。

令和8年度鹿児島県支部総会は、7月25日(土)、「ホテルグランソレツソ鹿児島天文館」で開催しました。

鹿児島県支部長

有村 忠二



徳島県支部

第18回桐雲会書作展を開催

徳島県支部では下部組織として書道の会「桐雲会」を置き、2年に1度書道展を開催してきた。令和8年は3月27日から29日の3日間、徳島県立文学書道館で第18回展を開催した。大学から賛助として、漢字作品を鹿倉碩齋先生、仮名作品

徳島県支部長

三木 敬宇



青森県支部

硬式野球部初優勝から五十周年

本学硬式野球部は、昭和四十一年首都大学野球連盟に加盟して、七年目の昭和四十七年春季一部リーグ戦において初優勝という快挙を成し遂げた。

令和六年は、当時四年生の昭和四十七年度卒業生が初優勝してから五十周年、また、昭和四十八年度卒業生が卒業五十年となる節目の年である。

そのため、二学年による一泊旅行を企画して参加者を募ったところ、四十七年度卒業生が七名、四十八年度卒業生が六名参加。さらに、招待者として、優勝監督の近藤宏氏、四十七年度生が二年生、四十八年度生が一年生時の新人監督林憲一氏（四十五年度卒業）と

第三代野球部OB会長の加藤博吉氏（四十六年度卒業）の三名の方にも加わって頂き、総勢十六名の参加であった。

五月二十日の旅行第一日は、東京駅に集合、貸切りバスにて千葉県安房鴨川「三月月シーパークホテル」に向けて出発。

途中、首都大学リーグの元ホームグラウンドであり、初優勝を決定した神宮第二球場の跡地を車窓から見学したが、学生当時を思い出し感慨深い気持ちに駆られた。

バスは、アクアラインを通行し、東京湾に浮かぶパーキングエリア「海はたる」で休憩、天気にも恵まれ大海原を背景に記念写真をパチリ。

車中では、五十年振りの再会を喜び、アルコールを注入しながら、自己紹介（病名などが主になった）と、学生時代の思い出、現在の生活振りを語り、酔いに任せたこともあり、自己紹介は全員予定が半数ほどしか進まずも、バスはホテルに到着。

ホテルでは早速、大浴場、露天風呂で旅の疲れを癒し、次の宴会に備えた。

宴会に先立ち、物故者の球友に黙祷を捧げ、近藤監督からご挨拶と優勝当時の思い出を語って頂き、次に高橋英一主将の優勝への苦労話と力強い乾杯の音頭で宴会は始まった。



二時間超の宴会と、ひと部屋に集合しての部屋飲み

は、優勝の良き思い出、合宿所生活の厳しさ、辛さや数々のエピソードで盛り上がり、日付が変わっても延々と続いた。

第二日目は、日蓮聖人ご誕生の地、誕生寺を参拝。鯛の浦遊覧船では、撒き餌による鯛の食いつきを堪能することができた。

昼食は、南房総・浜金谷にレストラン「ザ・フィッシュ」にてビール付きで地魚料理。また、おみやげ市場やバウムクーヘン工場「見波亭」でお土産を買い求めた。

日程の最終地は、「酒造りは米作りから」をモットーの小泉酒造。ソムリエハウスの「酒匠の館」を見学。お酒の製造工程のご説明もあり、「東魁盛」など地酒の試飲もさせて頂いた。

全日程を終え、帰路は再び「海はたる」で休憩、無事東京駅に到着。俗にいう社会見学も体験しながらの楽しい二日間を惜しみながら、またの再会を誓い合っ

て解散となった。

青森県支部長 階上 金三郎

東京都支部

令和八年度支部総会は、7月5日池袋の地球飯店に於いて開催いたしました。

神奈川県支部長池田文雄氏・千葉県支部長井敏男氏の出席を頂き、講演会は嘉悦大学元学長の井上行忠氏

（大35歳）『大学教員生活33年の振り返り（出会、変化そしてこれから）』をテーマを交えて語っていた

総会では、浅野副支部長の進行により進められ、事業報告、会計及び監査報告、事業計画案、予算書案を審議、承認されました。

懇親会は、最年少の中山氏の乾杯により宴が始まり、参加者全員の自己紹介が繰り広げられ、古き良き時代の思い出を語り合い、同窓の絆をより深め、和やかなうちに宮坂副支部長による、1本締めでお開きになりました。



「令和八年度大東文化大学同窓会代議委員会・総会」開催

今後の方向性を憂慮

去る令和8年5月31日（日曜日）に大東文化大学板橋キャンパスにおいて「令和八年度大東文化大学同窓会代議委員会・総会」が開催され、全国から各支部長、代議委員、本部役員及び一般会員を含めて63名の皆さんが参加されました。開会の冒頭で時間の要する資格審査単略の動議が出され、賛成多数で可決。今後は事前調査にて報告のみにすることが決まりました。そして小島会長の挨拶では当年度に全国の支部を回られた報告と逼迫する財政難の同窓会の今後の方向性が語られ、ご参加の皆さんも熱心に聞き入っていました。議長団選出では、山口県支部長の棟久郁夫氏と鹿児島県支部長代理の堀正信氏の両名が選出され議事の審議が行われました。

注目の第一号議案では「大東文化学園と同窓会の今後の方向性について」小島会長の学園との協議経過や方向性での説明があり、そのあとで大東文化学園から関連説明として村学務局長よりパワーポイントでの「大東サポーターズ」の解説を頂きました。今後は同窓会とのより具体的な協議を進めて行くとの事で注目される所です。（詳細は1面に記載）



ご来賓挨拶

大東文化大学 高橋学長様 今年度の代議委員会・総会にはご来賓として大東文化大学より高橋学長様はじめ大東文化学園の梅澤事務



感謝状贈呈

今年度総会でご退任される同窓会感謝状贈呈対象者の皆様は、山口辰也様（前北海道支部長）で在任期間は二〇一九年～二〇二五年までの6年間。田中重太郎様（前東京支部長）で在任期間は二〇二一年～二〇二五年までの4年間。小柳和孝様（前福岡県支部長）で在任期間は二〇一五年～二〇二五年までの10年間。佐藤健様（前栃木県支部長）で在任期間二〇二一年～二〇二五年までの4年間、の四名の皆様で、代表して前北海道支部長の山口辰也様に小島会長より感謝状と記念品が贈呈されました。

長年にわたるご退任の四名の皆様のご尽力に厚く感謝申し上げ、今後のご健康とご健勝を厚くお祈り申し上げます。

肝胆相照らす話題の花が咲いていました。懇親会には前会長の瀬戸口氏や顧問の萩庭氏も参加され、全国の各支部長様のご挨拶など時間の過行くのも忘れて歓談されていました。ご参加頂きました会員の皆さんには厚く感謝申し上げます。



「中華料理露華」にて懇親会を開催

令和八年度同窓会代議委員会・総会の終了後に「中華料理 露華」において懇親会が開催されました。会場には四十名近くの皆さんが参加され旧知を温めていました。冒頭小島会長の挨拶の後乾杯の発声を小林副会長が行い各テーブルには

